

やっと半分。(50/100)編集する

2010年09月30日 02:08 友人の友人まで公開

7 view



《写真1》50座目達成!!



《写真2》ロンも達成!!

※上記写真の濃ゆ〜い山行記録については、後日アップします。(ほんとに濃厚でした...)

まずはお詫び。m(__)m

HEBAさん、shifonさん、ごめんなさいっ💢💢

(→本当は、9月下旬と一緒に50座目を登頂する約束でしたが、訳あって実現できずでしたね...。というわけで、お先にいただきました!!🙇)

もともと、「百名山ハンター」という意識は全くなかったけれど、未登頂の山を登ってみたいのと、一生かけて日本全国津々浦々を旅してみたいという想いがあり、百名山はちょうどその足掛かりとなっていました👉

他方、実はまだ読んでいないのが、日本百名山を選定した深田久弥著の『日本百名山』。先日宿泊した両俣小屋に置いてあったので手に取ってみると、各地の山々の由来や、深田久弥の山への想いが記されていた📖

この本も、一度はじっくり読んでみたいものです。それによって、それぞれの山の見方も変わるかな👁️👁️

そんなこんなで、やっと半分👉

聖岳ってのもいいでしょ、名前がカッコいい💡

(と思うのはおれだけ💡?)

※豆知識としては、標高 3000m を越える地点としては日本最南端📅

ひたすら百名山だけを狙い、数年で百名山を登頂してしまう登山家もいるけれど、おれの場合は、ここまでくのに地道に(!?)14 年かかっていました。このペースだと、百名山を達成できるのは、さらに 10 年以上は先の話かな...👉 まあよく言えば、これも一種のライフワークだと呼んでおきましょう👉

そしてまた、今回偶然にも(いや、必然的に!?)、ロンと同じ山行で達成できたというのも嬉しい。お互い登っている山は違うし、今では年に 1~2 回程度しか一緒に行けないけれど、ロンは同じ時期に登山を始めた大切な仲間であり、荷物もたくさん持ってくれる頼もしい仲間でもある。ロンの百名山も、いつかは達成されることでしょう👉

(しかも今回、何の申し合わせもなかったのに、お互いが「50 座目登頂」の紙を用意していた。こういうところは、妙に気が合うというか、二人ともイベントが大好きです👉👉)

【軌跡】

※丸数字は、登頂した回数

※×はニアミス

(山頂付近であえなく断念(天候不順等の理由による))

- (1)谷川岳 ①96.6.22、②07.6.16
- (2)北岳 ①96.8.3、②10.9.11
- (3)間ノ岳 ①96.8.4、②10.9.11
- (4)塩見岳 ①96.8.6、②05.5.3
- (5)富士山 ①96.8.11、②98.8.1、③99.7.28、④03.8.31
- (6)八ヶ岳 ①96.9.6、×97.1.7、②97.9.7-8、③07.2.12
- (7)鳳凰山 ①96.10.18、②07.5.5
- (8)雲取山 ①97.5.25、②06.2.12
- (9)立山 ①97.8.29、②05.8.21
- (10)大菩薩 ①98.5.23、②08.1.14

- (11)槍ヶ岳 ×97.8.5、①98.8.8、②09.7.20、③10.7.19
- (12)鷲羽岳 ①98.8.10、②08.8.15
- (13)鹿島槍ヶ岳 ①99.8.9、②01.8.14
- (14)甲斐駒ヶ岳 ①99.10.10、②01.10.7
- (15)仙丈ヶ岳 ①01.7.8
- (16)五竜岳 ①01.8.14
- (17)白馬岳 ①01.8.16
- (18)甲武信ヶ岳 ①02.5.4
- (19)白山 ①04.8.2
- (20)丹沢 ①05.2.12、②05.12.3、③09.7.11、④10.4.17、⑤10.7.4

- (21)那須岳 ×01.1.2、①05.4.16
- (22)筑波山 ①05.6.13、②06.9.9、③07.8.19
- (23)乗鞍岳 ①05.8.13
- (24)剣岳 ①05.8.22
- (25)両神山 ①05.10.22
- (26)男体山(日光) ①06.3.18
- (27)金峰山 ①06.4.22
- (28)瑞牆山 ①06.4.23
- (29)石鎚山 ①06.5.4
- (30)剣山 ①06.5.6

- (31)蓼科山 ①06.6.11

- (32)御嶽山 ①06.8.19
- (33)至仏山 ①06.10.9
- (34)穂高連峰 ①07.8.3、②09.7.19、③09.8.4
- (35)常念岳 ①07.8.13
- (36)燧ヶ岳 ①08.6.8
- (37)日光白根山 ①08.7.5
- (38)朝日連峰 ①08.7.19-20
- (39)水晶岳 ①08.8.15
- (40)黒部五郎岳 ①08.8.16

- (41)苗場山 ①08.9.14
- (42)赤城山 ①08.11.3
- (43)会津駒ヶ岳 ①09.5.5、②09.10.26、③10.5.3
- (44)木曾駒ヶ岳 ×05.11.3、①09.8.9
- (45)皇海山 ①09.9.20
- (46)武尊岳 ①09.9.22
- (47)飯豊山 ①09.10.10
- (48)九重山 ①10.5.8
- (49)巻機山 ①10.8.1
- (50)聖岳 ①10.9.26

そして

- (51)光岳 ①10.9.27

※阿蘇山 ×09.2.8

(→一部登頂、有毒な噴煙発生のため最高峰(中岳)は未登頂)

つづく...

ってことで、継続は力なり!? かもね。



ひじり。編集する

2010年10月04日 03:01 友人の友人まで公開

14 view



ロンの計画は、時として奇怪、不可解、厄介... 😞 (何かへの戦い!?)

ロンいわく、今年の夏山を締めくくるのに相応しい山行にしたいという想いがあったそうだが、それにしても何かがおかしい。計画には軽身のピストンで行動する部分が多いとはいえ、なぜゆえ、

1泊2日で、コースタイム 29時間40分!!

を計画してしまうのだろうか... 😞

しかし、このプランが実現できたなら、ロンと同じ山行で百名山の50座目を登頂できる、というワクワク感もあった。(→詳しくは前回の日記を参照。)となれば、頑張るしかないかなあ。。。

【準備の小話】

とにかく今回は長距離で、かつ標高差が2000m以上もあるのだから、40リットルのザックでないといけないと心に決め、準備から気合を入れる。というより、久しぶりに山グッズを買ってしまった。準備段階での意外な出費だったが💰、でも仕方ない、軽量化のためだ。もとをとるぞ!! 🍗

★コンプレッションバッグ

シュラフ(寝袋)等を圧縮して収納できる袋。これでシュラフはバレーボールくらいの大きさになります。



(圧縮されたシュラフは、さぞ息苦しい思いをしているでしょう...。)

応用編としては、ダウンジャケット等もコンパクトに収納できるようです。

★LED ヘッドランプ

今さらと思われるかもしれませんが、ヘッドランプも新調。



実はいまだに、豆電球のものをしぶとく使っていました。(→壊れるまで使い続けたい貧乏性根性から、14年愛用 🤪 だって当時は高性能だった防水だし!! 💡 でも電池の減りも早いデス!! 💧)

今回は、深夜でも長時間歩けるように、思い切って LED 製品を買ったら、なんとバッテリーは 140 時間!?
(→これが標準!?) いやあ、時代に取り残されていましたね 🙄

★「衣類圧縮袋」(by100 円ショップ)

寒さも予想し、かさばる冬用のジャケットを、圧縮袋に閉じ込める!! よしっ!! 🙌

★さらに今回は、レンタカーで GO!! 🚗

基本的に、公共交通機関でアプローチするヤマノボラーにとって、車はとてつもない武器になる。着替えやお風呂セットを車の中に置いていける。これだけでも、ありがたい!!

※ちなみに、登山家の多くがマイカー登山ばかりだと、地方の(特に山岳路線の)足がなくなってしまうので、マイカー登山の皆様もたまには公共交通機関を利用して下さい m(__)m

そして、東京マラソン以来のサポートタイツも持参。これで準備万端!? よし、行っただい 🍷

【9 月 26 日(日)】

1:15 ロンと合流、自宅出発 🚗

台風も通り過ぎ、前日に見た山岳天気予報によれば、聖岳は晴れマークがついていたので安心していただが、当日ロンから、天気予報が雨マークに変わっていたことを知らされる。どうということ!? 🍷

6:20 易老渡 到着。

ロンが不眠で運転をしてくれ、易老渡(便ヶ島)に無事到着。おれは、最後のデコボコ道で中途半端に眠りかけたために、かえって気持ち悪くなり、しばらくダウン。。。しかも外は寒い...🥶

ロンは靴の手入れをするから休んでいいよ、と言ってくれたが、今日の行程を考えれば、のんびりはしてられない。それでも20分ほど寝てから、おれも気合を入れてコンビニ弁当を食べ始める。がんばるぞ🍱

7:20 易老渡(標高 880m) 出発!!

初めは何てことない、砂利の林道。(ここはまだ車が通れる。)



歩き始めてからすぐの風景。

上方に小さく見えるの聖岳(標高 3013m)。今日のはあの上に立ちます。(ということは、今日は 2100m も登るのね～、あはは～👉)

7:45-8:00 聖光小屋



駐車場兼キャンプ場。

ここのトイレは文句なしにきれい。水洗式。100点。喜んでチップ(50円)を払う👆(正直、易老渡のトイレは...。10点。。。👇)

ここが登山口となっており、少々登りはしたが、その後はしばらくは遊歩道が続く。

8:35 西沢渡

噂の、荷物専用渡し籠(150kgまで)。





太いワイヤーで吊られ、とても立派。沢の増水時に有効活用できる。(→なので、おれらはこれは使わず、難なく沢を渡りました。)

本格的な登りはここから始まる。今回おれが先頭を歩いたのだが、ロンが後ろから迫ってくるのと、先が長いことを考え、気合を入れて歩き続ける。ふくらはぎがつりそうになるが、サポーターを信じるしかない!!

(→しかし、後々聞くと、ロンはおれのペースに着いていくのがやっとだったと振り返る。もう、それを早く言ってよ～。)

登山道はよく踏まれているが、所々で滑落防止のネットも見られた。確かに急登なので、足を滑らせたら危険かも!?



ちなみに、標高 200m ごとに看板があります。

9:35-9:45 休憩① (約 1580m 地点)

休憩後も樹林帯がまだまだ続く。景色も変わり映えせず、淡々と登るのみ。

10:45-10:55 休憩② (約 2040m 地点 たぶん苔平を過ぎたあたり!?)

この辺りからやや緩やかな登りになり、木々も低くなる。ようやく目線の高さには、アルプスの稜線が現れると、登り甲斐があった登山道だったと嬉しくなる👆

そして、視界が突然開けると👁️



正面には上河内岳とアルプスの稜線。そのすぐ先が、薊(アザミ)畑分岐だ。しかし、至る所に生息するアザミは



すっかり枯れていた…。満開の薊畑を見たかったなあ。

11:45-12:05 薊畑分岐 (2400m)

ここで腹ごしらえをし、ピストン用のザックに荷物を詰め替えて、再出発。もちろん目指すは、聖岳 📍



薊畑分岐より見上げる聖岳。



分岐からの登り始め。両脇はやはりアザミが枯れている...

軽装になる。もうそれだけで天国。はずむ足取りで登り続け、

12:05-12:10 小聖岳 (2662m)



さらに登りは続きますが、ふとこんな所に見つけたのが、



岩場の陰の、エーデルワイス!! 南アにも咲いているんだね～。咲き終わりだけど、ちょっと癒された😊

さらには、水の音が聞こえる。



滝!?

登山道からは近寄れない場所にある滝だけど、こんな標高で水の音が聴けるのも嬉しい。

そして、聖岳核心部は



ガレ場のジグザグ道!! 少し登って振り返れば、



先ほど通過した小聖岳がすでにガスの中。あらら...

ここで、今まであまり見たことのない光景が...

なんと、ロンがばてている💡?

後ほどの本人談によれば、それは強烈な睡魔との闘いだっただけでなく、ただ頭の中から、休みたいという指令が出ていたらしい。そりゃそうだよね、昨日も出発直前まで仕事をし、徹夜で運転した後、2000mも登ってるんだから。。😓

でもロンは、ちょくちょく休みながらも、ふらふらになりながら、歩き続けていた。頑張ろうと自分に言い聞かせているのもわかる。あっぱれな根性だと思う👍

ジグザグ道はなかなか終わりが見えなかったが、それでも何かが見えた!?



ケルン!?

13:45 前聖岳山頂!!🙌 (3013m)

ここで、イベント!!



ww「百名山 50 座目登頂!!」 やったぜ😊

この重大な儀式を終えた後、ロンはすぐさまレインウェアを着こみ、眠りにつく。(寒そう〜😓)

その横で、おれは聖で食べようと懐に忍ばせていたポッキーを食べながら、ガスの中に見え隠れする縦走路を眺める。



聖岳の北側。右側のガスに見え隠れするのが赤石岳。

いずれ、この縦走路を歩くぞ!!



こちらは聖岳の南側。明日歩く茶臼岳～光岳までの稜線がガスの中に隠れている。

すると、ポツリ、ポツリと雨が降ってきてしまい…。ロン、目覚める。

ここで、お約束のポーズ。



雲の上まで歩きたかったよ。ここは残念ながら雲の中 ↓

14:37 聖岳 出発

聖岳(正確にはここを前聖岳と呼ぶ)から、奥聖岳へ出発。なんてことはない稜線歩き。

14:50-15:00 奥聖岳



奥聖岳のケルン。遠方は聖岳。

ここはケルン以外は何もなし。よし、それじゃあ下山だ。

15:10 聖岳 通過

15:50 小聖岳 通過

16:25-16:30 薊畑分岐。

ここでザックを拾い、聖平小屋へ向かう。この辺りから霧雨...🌧️ 急げー!!🏃👉



聖平分岐点付近。文字どおり、平ら。



聖平小屋までは木道で整備されている。

16:50 聖平小屋 到着。



営業期間外は冬期小屋が無料開放されており、遠慮なく使わせてもらおう。水場は、小屋の水道が止められているので、近くの沢から汲むしかない。

先客がいたので、外の炊事場で食事を作るが、寒い。(温度計は7℃) さらに追い打ちをかけるがごとく、雨は強まる一方。。。🌧️

食事後、明日の行動を相談するが、この時点では、下山モードに偏っていた。この際、雨なら明日はゆっくり起きて下山。東名道経由で帰って美味しいものでも食べようよ。というわけで、おれの頭の中は浜名湖のうなぎでいっぱいになった🐡

その話をしている最中に、シュラフに潜ったロンは、即行で寝息を立てていた。早っ…。でもお疲れ様でした👍

そしてこちらも、一応目覚ましはセットしつつ、ゆるゆると眠りの世界へ...🌙

つづく。

【歩行時間】

7:20 易老渡(便ヶ島)

7:45-8:00 聖光小屋

8:35 西沢渡

9:35-9:45 休憩①(約 1580m 地点)

10:45-10:55 休憩②(約 2040m 地点)

11:45 薊畑分岐

(ここからピストン)

12:05 薊畑分岐

12:45-12:50 小聖岳

13:45-14:37 聖岳

14:50-15:00 奥聖岳

15:10 聖岳

15:50 小聖岳

16:25 薊畑分岐

(再びザックを背負い)

16:30 薊畑分岐

16:50 聖平小屋

てかり。編集する

2010年10月07日 03:14 友人の友人まで公開

12 view



前回のつづきです 📝

ちなみに今回の山行は、主に標高 2200m~3000m の間を登ったり下りたりでしたが、わずかな標高差と地形の差で、樹林帯、低木帯、湿地帯、ハイマツ帯、ガレ場等、いろいろな風景を楽しめる場所でした。そして、南アだからか、この標高にして緑が豊か!! 🍀

以下、ダラダラな文章よりは、画像もお楽しみください。ということで:

【9月27日(月)】

2:15 起床

外を見に行くと、雨が止んでいる...

ロン:「じゃあ、テカリまで行きますか」

ww:「え、何で!？」

下山して浜名湖のうなぎを食べる気満々だったおれは、ロンにちょっとびびりながらも、腹をくくった。。。😞

本日のコースタイム 17 時間 40 分。これはもう、時間との勝負で行くぞ!! 🏹🏹🏹



3:50 聖平小屋 出発 (2280m)



ぼんやりとだが月明かりがある。あと標高が 300m くらい高ければ、雲の上にいられたかも、と思いつつ、新調した LED のヘッドランプを頼りに歩き始める。樹林帯の暗闇なので、念のため、ロンが熊よけ鈴を鳴らす🔔

(ちなみにこのライト、コンパクトで明るいけど一点集中で照らすのが難点。豆電球のライトの方が、照らす範囲が広がったような...)

4:45 岩頭 通過

この付近から森林限界を超え始める。ガレ場のジグザグ登りが続く。稜線に出そうで出ない...👉

5:02-5:12 稜線に出るまでは...、と思いつつ息が上がって小休憩。

ここでガレ場を登りきると、登山道からはずれてしまったらしく💧、それでも歩けそうなところを歩いていたら、小広場🔔?



5:15-5:17 南岳到着(2702m)。

なんだ、ここで休憩すればよかったね。

ようやくヘッドランプなしで歩ける明るさになりました。

この辺りから、ようやくアルプスらしい稜線歩きが始まるが、





晴れそうで晴れない... 😞

5:45 上河内岳分岐。ここにザックを置いて、さくっとピストン。



5:55-6:05 上河内岳登頂 (2803m)

見事に真っ白で、風強し!!

ちなみにここは二百名山だったりもします 🙌

さらに、稜線をテクテクテクテク 🚶👉



6:20-6:23 奇岩竹内門

こういうただの通過ポイントで、いろいろと写真撮影に励んでしまうおれら。こういうのが無駄なようで、おれらにとっては必要な時間 😊

歩きながら振り返れば、



残念ながら、聖岳がガスに隠れておられます。

ちなみに、真ん中の尾根が、昨日登ってきた易老渡から薊畑までの尾根。



7:00 ハイジの丘

名前につられて行って見たが、特に何もなし。天気良ければまた違ったかな。

7:05 茶臼岳分岐 通過



朝露に濡れたハイマツを撮影してみました。

これ、遠くから見ると、光の加減で白い花のようにも見えました✨

7:25-7:40 茶臼岳 (2604m)



ちなみにここは三百名山。

時々青空が見えそうで、やっぱり相変わらずガスの中。

ここで行動食タイム🍪にしたが、無心でオレオを4分の3食べていた自分にびっくりした。やはり今日もエネルギーの消費は早い💧 それと、魔法瓶が壊れたようで、朝入れた熱湯が水だった...😓

ここからはしばらく下りが続き👉👈



亀甲状土。平ら。木道が整備されているが滑りやすい。

この画像の真ん中に映っている木の枝に、おれは頭をモロ直撃し、その拍子にバナナで足を滑らせたような転び方を披露したのであります。(→でも転んだときに、ザックが後頭部を守ってくれたよ～。) おれにとっては、忘れられない一枚です...📷

(→「動画で撮れなかったのが残念だった」(by ロン))

さらにコマを進めると👉👈



8:10 希望峰。

明るい名前なのだが、眺望はなく、これじゃ希望は持てないね...👇

(しかもここまで歩いて、本日のルートはまだ3分の1も終わっていない...👇👇👇 でもようやく先が見えてきたような気もした。これが唯一の希望!?(🤔))

ここから仁田岳までは往復 30 分。



ハイマツに覆われた登山道を登ると、



8:25 仁田岳 (2523m)

このハイマツの斜面は、まだまだ南へと続いているようだが、登山道はここまでなので、希望峰に引き返す。

そして再び、樹林帯に入る。「樹林帯＝クマ出没!？」なんて考えていたら、ロンの熊よけ鈴が鳴っていないことに気づく🐻 どうやら希望峰辺りで落としたらしいが、さすがに戻る気にもなれず、先に進む。

この辺りはそれほど起伏もなく、樹林帯といっても明るい。



何の変哲もない樹林帯を、パチリ。

でも、時々開けた空間もあつたりで、穏やかな水平移動でした～👉👈

9:55-10:10 易老岳(2356m)



再び行動食でおなかを満たした後は、ピストン用のザックに必要な荷物を詰め替える。ここからまたまた軽装だ～♪

10:55、三吉平(みよしだいら!? さんきちだいら!?) (2200m)

ここまで下れば、光岳への登りが始まる。本日最後の登りだ!!



ちらちらと青空が見え始まる👀



太陽の光がわずかでも射せば、森は一気に明るくなる✨



苔が美しい。(→最近苔の美しさがわかってきたような ww です🍀)

ここで本日初めての(!!)登山客に出会ったが、なんと彼は、寸又峡から甲斐駒(余裕があれば鳳凰山)までの縦走を計画しており、今朝は柴沢吊橋から登り始め、おそらく聖平までは歩ききる気配👂

なんという脚力💡 本日唯一出合った登山客がこんな人だったというのも何だか得した気分!? おれらもがんばろう👊



静高平



この界限では唯一登山道にある水場💧

ここは涸れることも多いそうだが、昨日の雨のおかげか、今日は流れていた。うまいっ♪

そして、



最後の開けた登りを登り切れば、



平原が現れ、



見えた~!!

11:50-12:00 光小屋 (2520m)



「オフシーズン入口」とあれば、ここも営業期間外は無料開放の様子。



小屋の中はとてもきれい。

もちろん、光小屋が目的地ではなく、ここから最後の最後の登りを登れば、



あった!!

12:15-12:25 光岳!! (2591m)

噂には聞いていたが、樹林に囲まれた山頂。展望なし。でも、木々の隙間から、空が見えてよかった。

そしてイベントです!🕊



ロン、50 座目おめでとう!!



またまた、定番のポーズ。

しかし眺望のない山頂は、何か物足りないものがある。そんな思いを払拭させてくれたのが、ここからさらに数分足を延ばしたここ!!



あれは!?

12:32-12:50 光岩!! ✨

ここに来て、初めて満足感を覚える。

(正直、光岳よりも、むしろ光岩を山頂にすべきではと思う💡)

ここ、本当は、写真だけ撮ってすぐに引き返すつもりだったが...、この岩の上に登って気分は一転👆👆👆

ここにこそ、ゆっくりいたかった~~~~!! 😊

というわけで、のんびりモードが始まる。



青空まで出てきたし!! 😊



ここで食べた、フルーツインゼリーも美味しかったし🎵😊

サイコー!!👍👍👍

でも、やっぱり後が控えているので、惜しみながらの退散。



また来るよ、光岩!!

というわけで、Uターンしたおれらは、時間がないんだと慌ただしい移動が始まり👣👣👣

13:00 光岳 通過

13:10 光小屋 通過

でもこの後、やっぱり通過できなかったのが、

13:25-13:27 イザルヶ岳



登山道から外れた小ピーク。ピークと言うよりは、小高い丘のような山頂で、ピクニックで来たいような場所だった。シートを広げ、お茶を沸かし🍵、ごろんと寝転ぶのに最適なところ!!🏠

とにかく今回悟ったのは、光岳周辺は、ゆっくりのんびりしたいスポットがたくさんあるということ💡 なのにおれらときたら、ガツガツしてばかり...💧 これが今回の最大の反省かね、とロンとしゃべりながら、やっぱりがつつと下り始める👉👈





そのうち、下りなので早歩きになり、だんだん会話も少なくなり、



14:10 三吉平 通過

ここから登り返して、


14:55-15:15 易老岳


腹ごしらえをした後、再びザックを背負うが…。

ここでおれは、相当お疲れオーラを出していたと思う。これからの下山を思うと… でも下りるしかない
  


下り始めてから最初の 20 分は、やせ尾根。まだ先は長いのだと自覚し、足元を注意しながらゆっくり進んだ
 

そして当初はここから登山口まで、標高差約 1100~1200m のイメージだった。コースタイムも 3 時間半だし、まあそのくらいだろうと。

がしかし!!

歩き始めてから冷静に考えると、気付いてしまった

「易老岳の看板には 2356m と書かれてあり、登山口は 880m」

ということは、標高差 1500m ではないか。今からそんなに下るのか!? イメージより一気に 300m 増えた。その差は大きい。しかも、下り。膝を壊す気ですか!?

しかもこの時すでに 15:40。このペースだったら、日没までに下りられるのか!? (ちなみにロンはさりげなく、すでにヘッドランプを首からぶら下げていた。おれのお疲れモードを察し、日没後の下山に備えていたらしい。)

ああ-----😓

16:07-16:15 小広場と思われるところで休憩。(約 1800m 辺り!?)

この辺りから、気が狂い始めていたと思う🤪

とりあえず、膝を柔らかく使いたいと思い、軽く弾むように踏み込み始めたら、それが次第に...

トレイルランナーに変わっていた👣👣👣

(でも走れないから、競歩!?)

ロンを振り返れば、ストックを出していた。ロンいわく、ストックがあればなんてことはないとのこと。走ったとしても、2週間後のハセツネカップ(トレイルランニング最高峰の大会)に出場するので、いいトレーニングになると。

それなら!!👣👣

もうこうなったら!! 📈 📈 📈

「見えないチカラ✨」を使った 🍷

(これがもしや、ナチュラルハイ!? 📈 📈 📈 📈 📈)

下りなのに、暑い 💧

そして頭も熱い 🤒

なぜか汗をかいている 💧

長袖も途中で脱ぐ。 💧

でも自分の膝は信じる ✨

今日はサポーターだって履いている 🍷

集中 📈

ぐわあ----->>>

一目散とはこういうことか。しいて言うなら、赤テープ(登山道の目印)と、時計(高度計)だけを見ながらの下山だった。樹林帯の中、植物にも、空にも、一切目をくれなかった。もちろん写真も撮らなかった。

おれの高度計は、2分に1回高度を自動で測定するするのだが、2分ごとの標高差が25~40m縮まるペースだった。10分で150m下ったとして、このペースだとどうなる!?

16:35 面平 通過 (約 1500m)



このやる気のなさそうな看板には、思わず立ち止まって📷
(もっときれいに書かれた看板も、あったけどね。)

そして、再び小走りするもの🏃🏃🏃

ああ。。。😓

どんどん薄暗くなっていく。。。😓

まだまだ気合が必要だ!!👊

集中💯 集中💯

ぐお-----⇒⇒⇒



そして、

森を抜けると、思ったよりは明るい。日没前だ。



トレイルランナー、下りきったー!! 😊

17:20 便ヶ島(易老渡) 下山。

ロンと握手を交わし、駐車場にたどり着くと、「見えないチカラ」が急速に遠ざかっていく。そして立っている気力もなく... 😞 車の前で銀マットを広げる。片付けさえも足を投げ出しながらだった 🙄

そしたら、ここに来て、雨... 🌧️

まあ、下山中に降られずによかったわけで、急いで車の中に駆け込み、

17:50 易老渡(駐車場) 出発🚗

車に乗ってからも、しばらくは興奮していたけれど、あとで運転が変わるつもりで睡眠態勢に入ったら...
気がつけば諏訪 SA にワープしていたとさ👂 (ロン、運転さんきゅー。)

20:30-21:25 中央道 諏訪 SA

ここでいつも気になっていたハイウェイ温泉🔥に入ってみる。めちゃくちゃ熱いですよ、この温泉...😓
でもコンパクトにまとまった施設でした😊

結局、その後もロンが運転してくれたが、今回の山を振り返りながら、いろいろな話に花が咲き...、あっとい
う間に東京に着きまして、

23:50 自宅到着🏠

あー、本当に長い一日だった。

お疲れ様でした👍

そして、ロン、ありがとう💡

《本日の行程👉》

3:50 聖平小屋
5:02-5:12 小休憩
5:15-5:17 南岳
5:55-6:05 上河内岳
7:05 茶臼岳分岐
7:25-7:40 茶臼岳
8:10 希望峰
8:25 仁田岳
8:40 希望峰
9:55 易老岳

(ここからピストン)

10:05 易老岳
10:55 三吉平
11:50-12:00 光小屋
12:15-12:25 光岳
12:32-12:50 光岩
13:00 光岳
13:10 光小屋
13:25-13:27 イザルヶ岳
14:10 三吉平
14:55 易老岳

(再びザックを背負って)

15:15 易老岳
15:40 小広場?
16:07-16:15 小休憩
16:35 面平
17:20 易老渡

(歩行時間 11h35m/行動時間 13h30m/コースタイム 17h40m)

《温泉情報🔥》

登山口の近場の温泉は「かぐらの湯」(→ネット上の評判がよい)だけど、
今回寄ったのは、中央道諏訪 SA の「ハイウェイ温泉」。

《アプローチ🚗》

自宅～(首都高+中央道で約 3 時間半)～松川 IC～(下道で約 2 時間)～易老渡

《総括📝》

今回の収穫は、「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も」ってことですかね!?

計画自体の無謀さは否定できないけれど、とにかく荷物を軽くし(しかもロンが食料も持ってくれたし)、そしてイベントに対する気合いを入れたことが、山行成功の秘訣だったかもしれない💡

結果論でいえば、自分の体力試しにもなったし、めでたしめでたし!!🙌

以上!!